

第 92 回 福証 I R フェア 会社説明資料

2019 年 2 月 27 日

 **日本乾溜工業株式会社**
NIPPON KANRYU INDUSTRY CO.,LTD.

目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

1.会社概要

- 社名：日本乾溜工業株式会社
- 本社：福岡市東区馬出1丁目11番11号
- 設立：昭和14年7月1日
- 資本金：4億13百万円
- 年商：連結127億59百万円（2018年9月期）
- 従業員：連結 234名（2018年9月期）
- 株式市場：福岡証券取引所 上場



目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

2.事業内容

経営理念

環境にやさしく安全な社会の
創造に向けてあくなき挑戦を続ける。

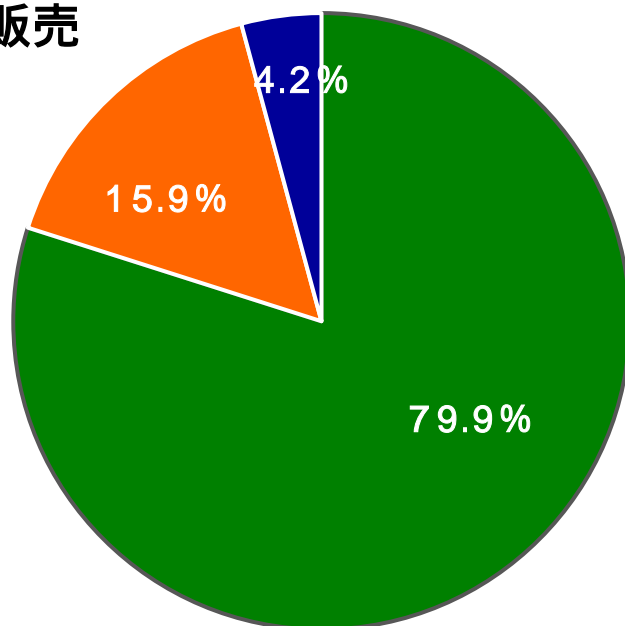
化学品事業

不溶性硫黄の製造・販売
防草土の製造・販売

防災安全事業

防災用品の販売
産業安全衛生用品の販売

《売上高構成》



建設事業

交通安全施設工事、
法面工事、土木工事、
景観工事、メンテ工事、
各種建設資材の販売

2.事業内容

建設事業

交通安全施設分野



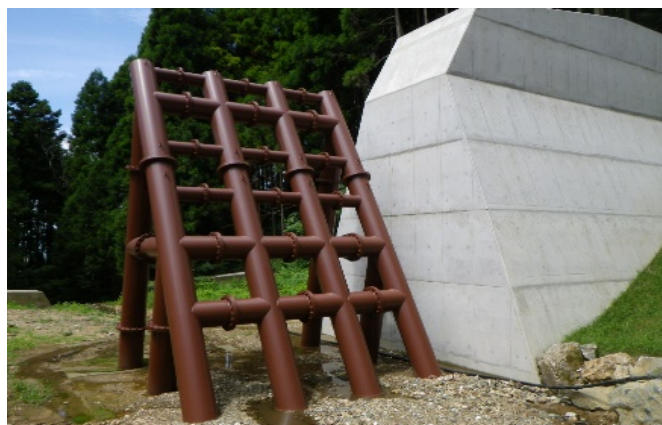
法面防災分野



2.事業内容

建設事業

土木分野



コンクリートメンテナンス分野



2.事業内容

建設事業

景観分野



2.事業内容

建設事業

土木分野

土地の造成・用地の有効利用

テールアルメ工法

最も古くに考案された補強土壁工法。用地に制限がある場所で、垂直に近い壁面を補強することが可能な土留め構造物



2.事業内容

建設事業

土木分野

大規模な浸水、土砂災害による被害の防止・最小化

スリット堰堤

土石流捕捉を目的とする鋼製透過型砂防堰堤。土石流発生時には、土石流中の巨礫や多量の土砂を捕捉し、下流への流出による災害を未然に防ぐ。



2.事業内容

防災安全事業

防災用品



産業安全衛生用品



2. 事業内容

化学品事業

不溶性硫黄

国内唯一の60%不溶性硫黄

不溶性硫黄とは、ゴム製品に弾性を与えるゴム加硫剤の一種。国内主要タイヤメーカーに採用。



黒崎工場



北九州の八幡にて、
ピッチコークスを製造する
化学品製造会社としてスタート

ピッチコークス



2.事業内容

化学品事業

雑草アタック（土系防草舗装材）

セメントや化学的な薬剤を一切使用せず、土に還る自然素材だけで環境型自然土防草舗装材を開発しました。土と竹短繊維と海水中のにがり成分などの天然素材だけで出来た、草が生えなくなる土です。



大村公園（長崎県）



施工写真



施工前

吉野ヶ里歴史公園（佐賀県）



施工後

大分県護国神社（大分県）



目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

3.業績について

第81期決算（連結）

（2017年10月1日～2018年9月30日）

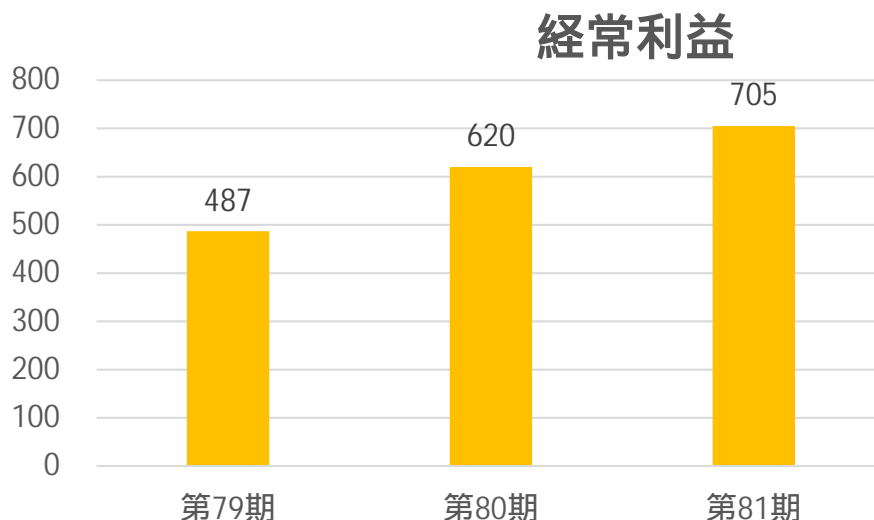
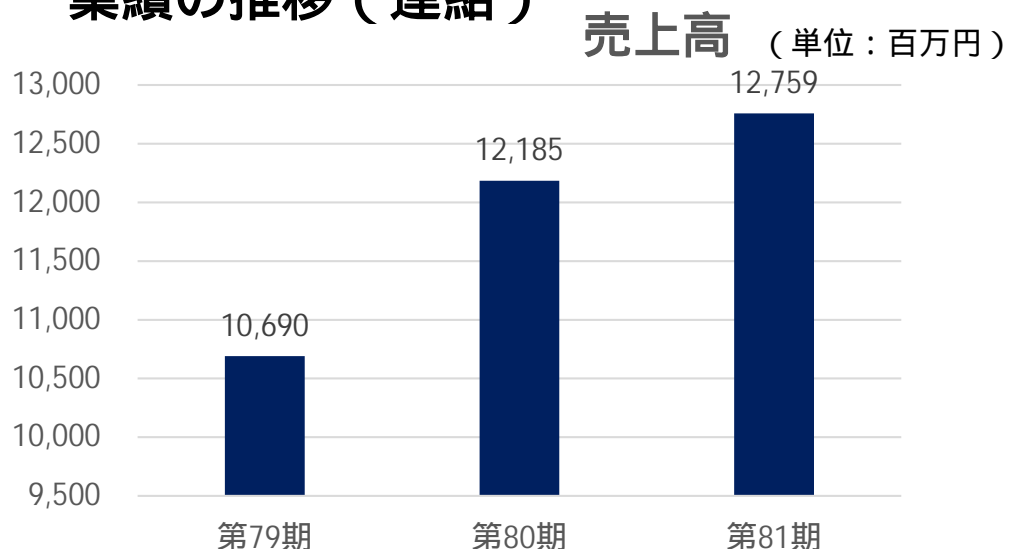
売上高 127億59百万円
前年同期比 4.7%増

営業利益 6億58百万円
前年同期比 12.6%増

経常利益 7億5百万円
前年同期比 13.7%増

**親会社株主に
帰属する当期純利益** 4億84百万円
前年同期比 8.9%増

業績の推移（連結）



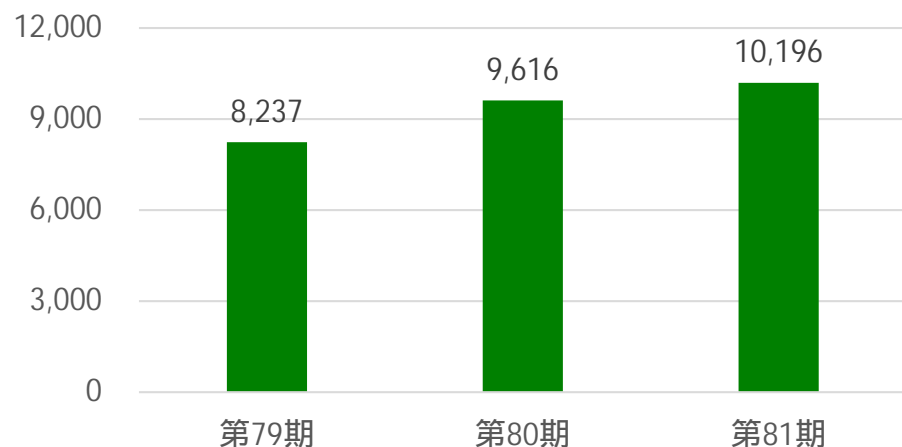
3.業績について

事業部別業績の推移（連結）

建設事業

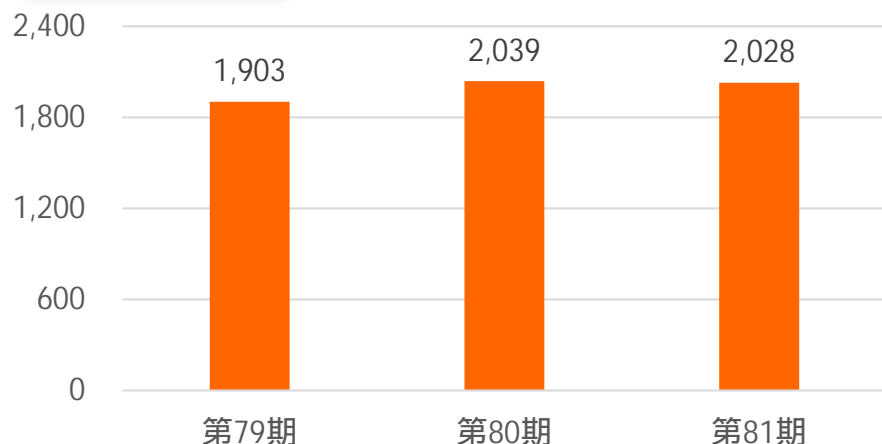
（単位：百万円）

（単位：百万円）

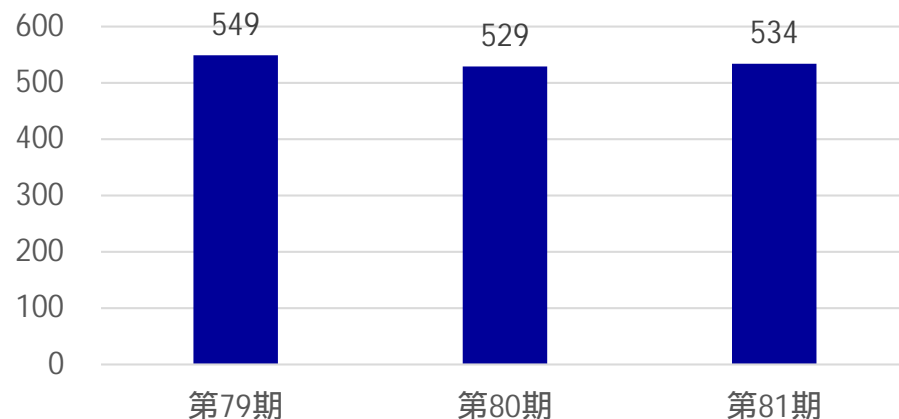


	第79期	第80期	第81期
建設事業	8,237	9,616	10,196
防災安全事業	1,903	2,039	2,028
化学品事業	549	529	534
合計	10,690	12,185	12,759

防災安全事業



化学品事業

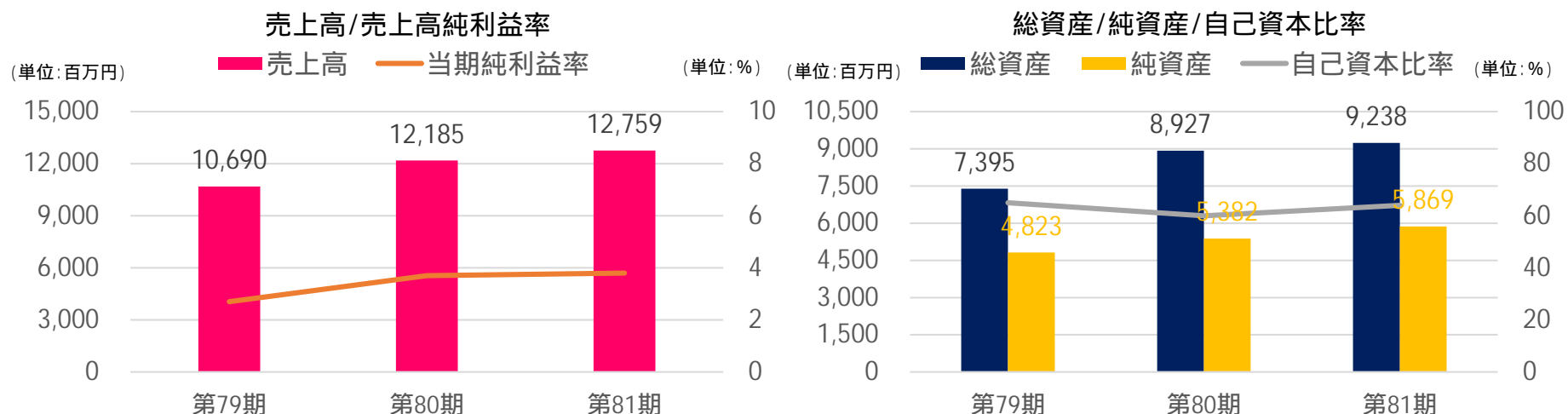


3.業績について

財産及び損益状況の推移（連結）

(単位:百万円)

	第79期	第80期	第81期
売上高	10,690	12,185	12,759
経常利益	487	620	705
親会社株主に帰属する当期純利益	288	444	484
1株当たり当期純利益	53円99銭	85円08銭	92円91銭
総資産	7,395	8,927	9,238
純資産	4,823	5,382	5,869

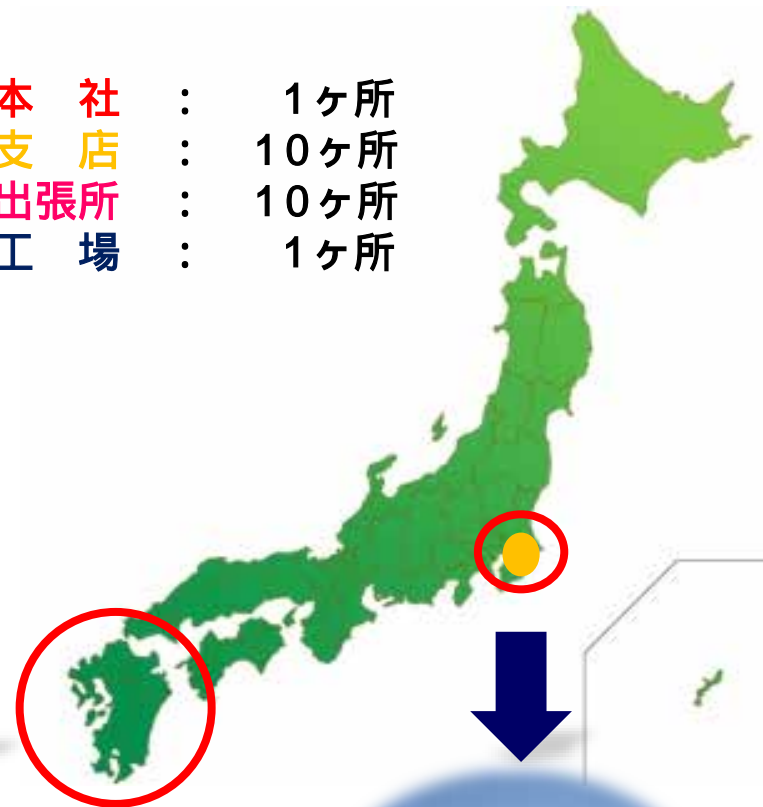
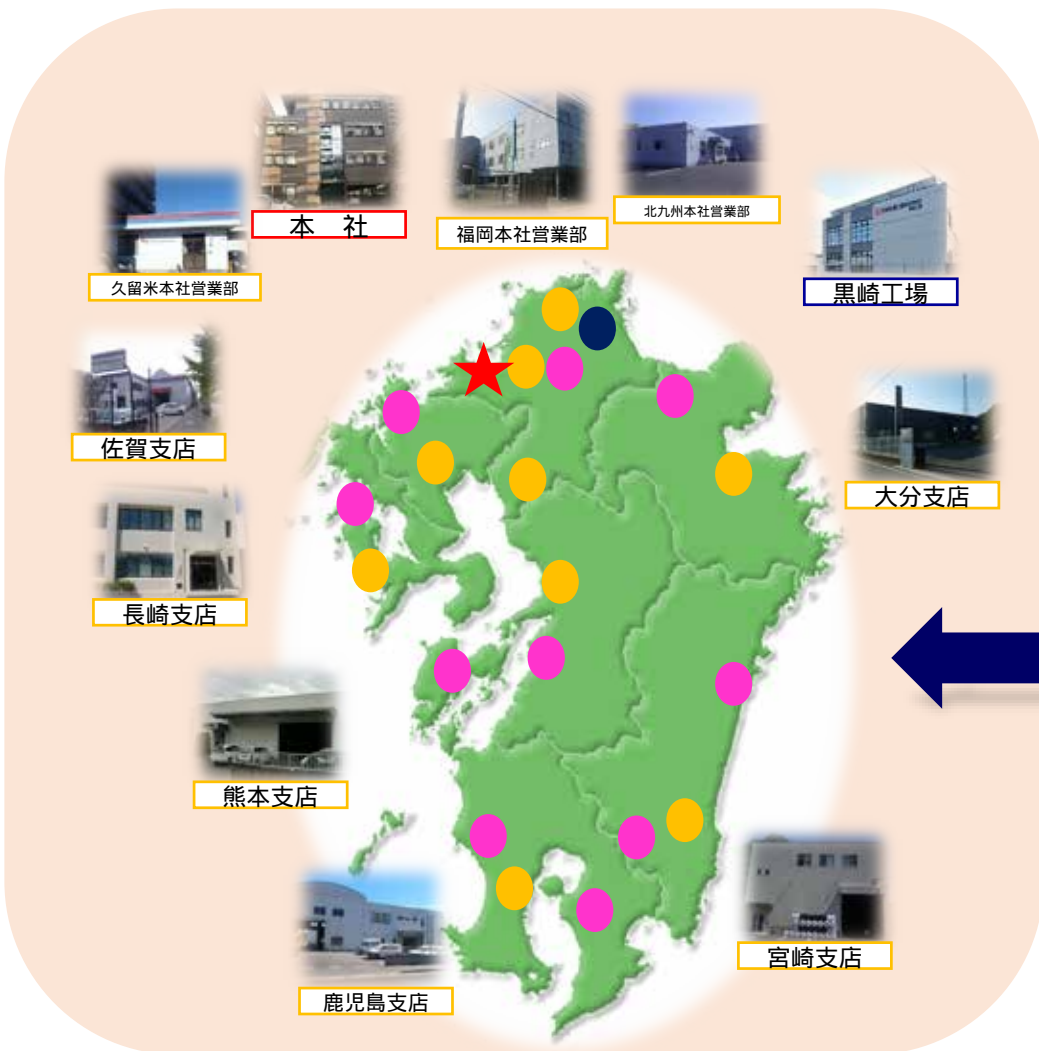


目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

4.特色

本社 : 1ヶ所
 支店 : 10ヶ所
 出張所 : 10ヶ所
 工場 : 1ヶ所



4.特色

地元・九州に「安全」の種をまく

手掛ける仕事は人々の「安全」に直結するものばかり。九州の人々の「日々の安心」を守り、そして「もしもの時」を想定し街に安全の種を撒く。それが当社の使命であり、存在意義だと考えています。

Before



After



4.特色



建設資材・土木資材



高炉メーカー

鉄鋼建材メーカー

商社・建設会社



新日鐵住金



JFE スチール 株式会社

KOBELCO

株式会社神戸製鋼所

日鐵住金建材株式会社

JFE 建材株式会社

神鋼建材工業株式会社

鉄
鋼
建
材
商
社



日本乾溜工業株式会社

建材商社

建設会社

自社施工

目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

5. トピックス

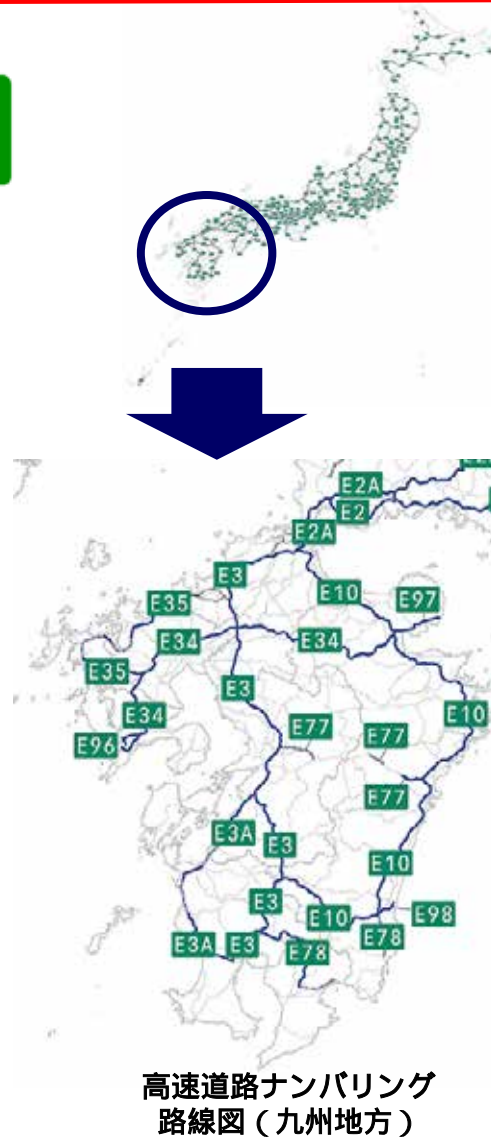
高速道路ナンバリング標識

E1

E56

C4

整備が進む日本の高速道路ネットワークにおいて、路線名に併せて路線番号を用いて案内する「ナンバリング」を導入することにより、訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を実現。



九州管内高速道路及び市街地に係る、一円の案内標識のナンバリング標識取換・設置工事を当社にて一括受注

工期	平成29年度	2017年10月	～	2019年	9月
	平成30年度	2018年10月	～	2020年	4月

5.トピックス

外国語の注意喚起看板

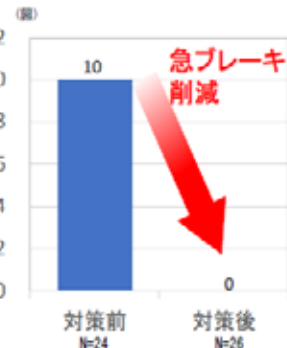
急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、ETC2.0の急ブレーキデータから事故危険個所を特定し、平成29年より韓国語・中国語の注意喚起文字やピクトグラムを交互に標示。

◆急ブレーキ対策区間の効果

【①日田IC～天瀬高塚IC(福岡方面)本線部】



【②玖珠SA(大分方面)入口部】



実験結果

○対策実施により、速度低下や急ブレーキの減少が確認された。有効な効果が認められたため、レンタカー利用の最も多い韓国、中国圏の注意喚起看板を当社にて設置工事を実施。

【完成写真】



5. トピックス

QRトランスレーター



QRコードをスマホで読み取り、15の言語で看板を翻訳。既設の観光案内板にも追加設置可能であり、急増する外国人旅行者へのホスピタリティの向上を実現。



5.トピックス

ワイヤロープ式防護柵

H24～ 道央道・磐越道で拡幅により中央帯1.5mを確保してワイヤロープを試行設置



(道央道 大沼公園IC～森IC) 延長1.5km



(磐越道 三川IC～安田IC) 延長0.4km

⇒ 車両接触事故3件。反対車線への飛び出し、死傷者なし。



H28～ 既存幅員内でのワイヤロープ設置の適用性を検証

※有料の高速道路において検証を実施

※各箇所で開催機関協議や設計・施工を進め、平成29年度春より設置検証を開始

【当社元請現場完工写真】



[ワイヤロープ]



※写真は中央帯1.5mを確保して設置している事例

[従来のラバーポール]



①高い衝撃緩和性能

車両衝突時に中間支柱が倒れ、ワイヤロープのたわみが車両の衝撃を緩和して、安全に誘導。

②狭い幅で設置が可能

細い支柱にワイヤロープを通してあるので、設置幅が少なく、既存幅員内で設置が可能。



車両が受ける衝撃を緩和



細い支柱

出典：国土交通省ホームページ (http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/front_accident/index.html)

5.トピックス

防災・減災、災害復興

九州内で相次ぐ自然災害に対し、主力の建設事業、防災安全事業から防災・減災対策に取り組んでいきます。

防災用品展示会の様子



平榎地区災害関連緊急地すべり対策法面工事



目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

6.中期経営計画について

第79-81期) 中期経営計画の振り返り

基本方針

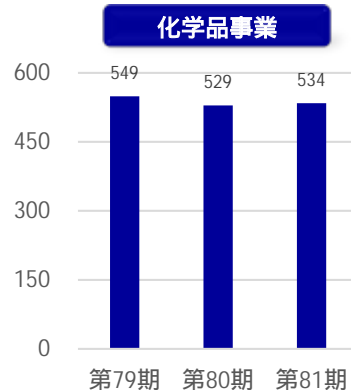
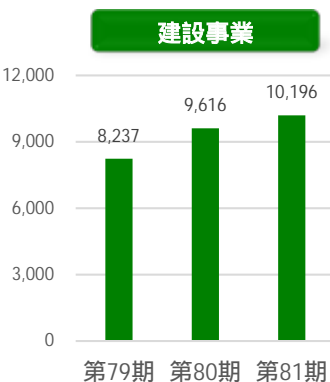
3事業分野の事業領域の拡大
収益力の向上と財務基盤の強化
人材・組織力の強化と企業統治の向上

目指す企業像に「より必要とされる企業へ」を掲げ、3ヶ年で磐石な経営基盤づくりを推進

【3事業分野の事業領域拡大】

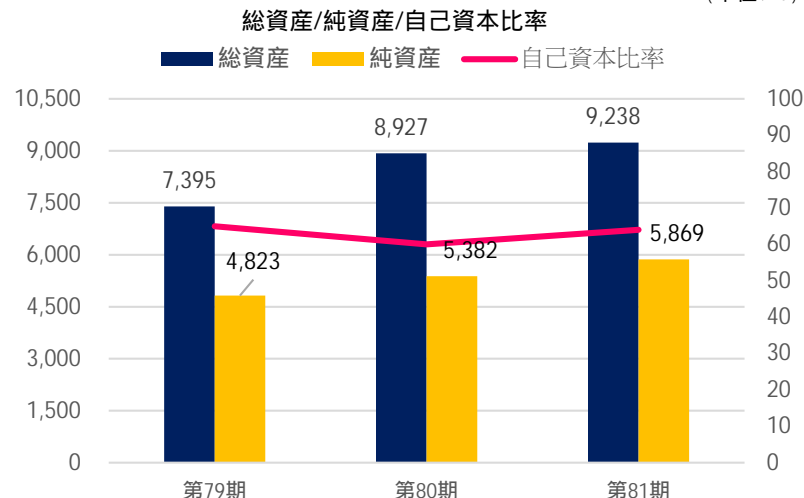
(単位：百万円)

事業部別売上高	第79期	第80期	第81期
建設事業	8,237	9,616	10,196
防災安全事業	1,903	2,039	2,028
化学品事業	549	529	534
合計	10,690	12,185	12,759



【収益力の向上と財務基盤の強化】

(単位：%)



【人材・組織力の強化と企業統治の向上】

- ・ 施工体制強化のために人員増強
- ・ ブロック制導入、組織再編
- ・ 各種研修の拡充
- ・ 働き方改革委員会の立ち上げ

6.中期経営計画について

第79-81期) 中期経営計画の振り返り

基本方針

3事業分野の事業領域の拡大
収益力の向上と財務基盤の強化
人材・組織力の強化と企業統治の向上

目指す企業像に「より必要とされる企業へ」を掲げ、3ヶ年で磐石な経営基盤づくりを推進

第79期

第80期

第81期

第82期 ~ 第84期

建設事業部

- ・熊本震災の発生から復興に向けた貢献へ体制整備・強化
- ・九州初となるワイヤーロープ式防護柵を施工
- ・過去最高額となるナンバリング標識関連工事を受注

防災安全事業部

- ・事業部発足以降、事業領域拡大から初の売上高20億円を突破

化学品事業部

- ・供給体制整備のため、工場建屋改修の完了

- ・営業工事体制整備へ、組織改編(ブロック制・営業・工事統括部)

- ・工事施工体制の拡充、再整備の推進

- ・経営体制の若返りに伴い、コンプライアンス遵守、コミュニケーション活性化、働き方改革の推進を強化

- ・収益力の向上と、自己資本のさらなる充実

6. 中期経営計画について

【第82期～84期】中期経営計画策定の背景

中期経営計画策定において『経営理念』への立ち返り

経営理念

環境 にやさしく **安全** な社会の
創造 に向けてあくなき **挑戦** を続ける。

【直近3年での激甚災害指定状況】（内閣府）

2016年	4月 - 熊本地震 6月 - 梅雨前線による大雨（熊本、宮崎） 8月 - 台風及び前線による大雨防風（北海道、岩手） 9月 - 台風16号（鹿児島・宮崎）
2017年	7月 - 平成29年7月九州北部豪雨災害 9月 - 台風18号（大分、愛媛、京都） 10月 - 台風21号（近畿）
2018年	7月 - 平成30年7月西日本豪雨災害 9月 - 北海道胆振東部地震

度重なる自然災害、労働災害、交通災害に対し、3事業分野をもって発生を抑制する防災・減災へ貢献すること。また、災害復旧・復興に対し、迅速な対応から安全・安心を提供することが“**当社グループの使命**”

“ **安全** な社会の **創造** ”

6. 中期経営計画について

基本方針

理想

100年企業に向けた強固な足場作りとして、グループ一体での営業力・技術力結集から、地域・業界での絶対的存在感を発揮する。

中期経営計画全体テーマ

“4C” コンシャス
(意識する)

「Compliance」
コンプライアンス

「Communication」
相互理解

「Challenge」
挑戦

「Creation」
創造

中期経営計画全体シナリオ

【建設事業】

営業力・技術力向上を図りつつ事業領域の拡大

【防災安全事業】

さらなる成長戦略から10年後、倍増の事業規模への基盤づくり

【化学品事業】

今後10年を見据え売上高10億円規模への体制整備

攻守絡めた子会社施策の強化

さらに高まる地元優先への対応を目的として、九州全県にて子会社展開

既存子会社の位置付け明確化と新たな展開の実行

コンプライアンス経営の推進から、企業リスクの最小化
相互コミュニケーションの醸成
「働き方改革」の推進
効率化追求のためのIT化推進

6. 中期経営計画について

理想

100年企業に向けた強固な足場作りとして、グループ一体での
営業力・技術力結集から、地域・業界での絶対的存在感を発揮する。

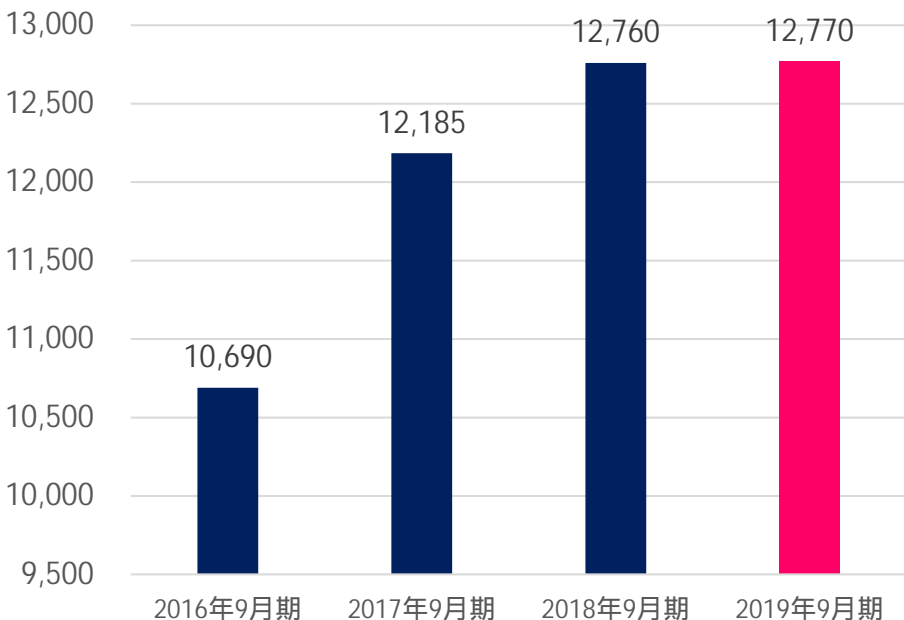
2019年9月期業績予想

(単位：百万円)

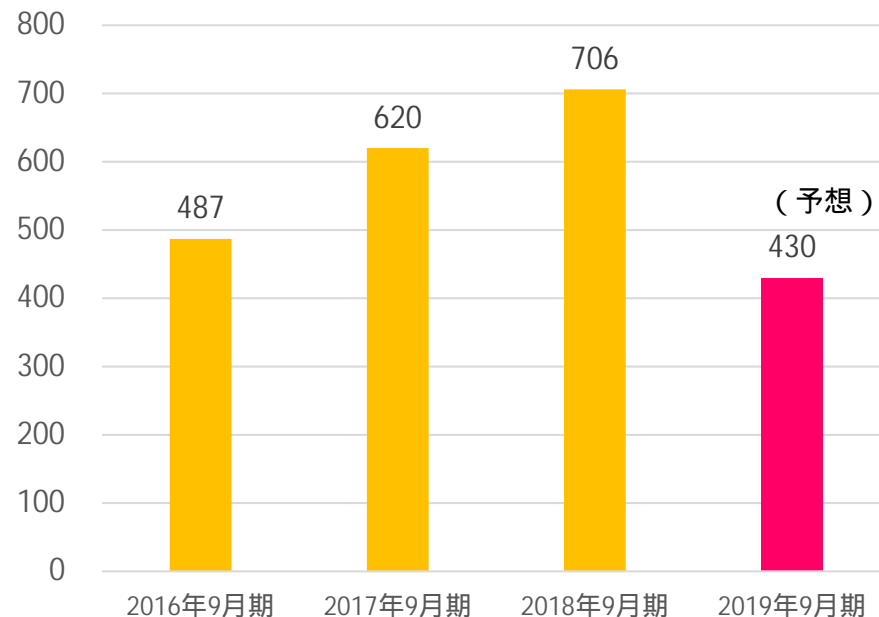
(単位：百万円)

売上高

(予想)



経常利益



目次

1.会社概要	P.3
2.事業内容	P.5
3.業績について	P.15
4.特色	P.19
5.トピックス	P.23
6.中期経営計画について	P.29
7.株式の状況	P.35

7. 株式の状況

日本乾溜工業株式会社
株価チャート(1年)

400円台にて推移



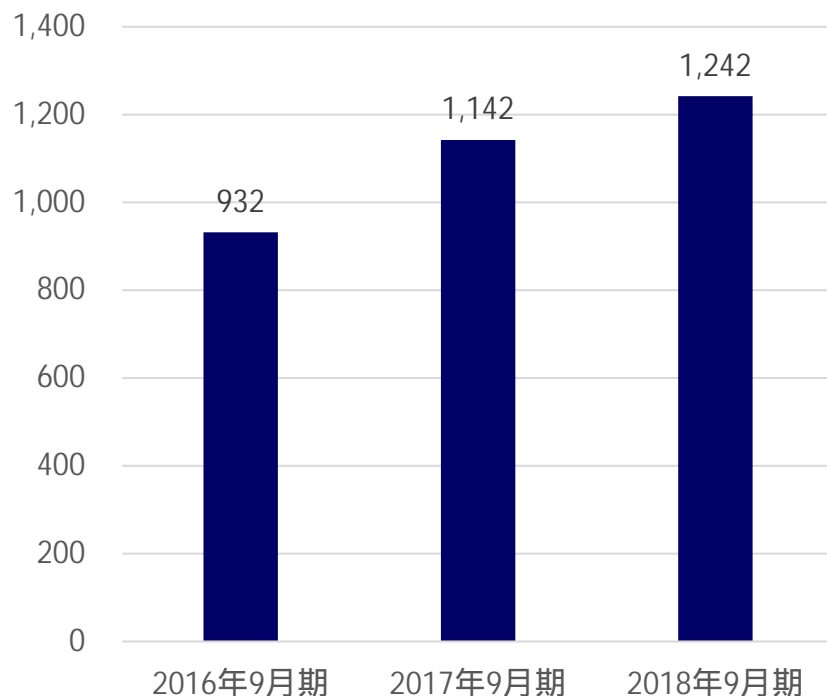
7. 株式の状況

配当方針

株主の皆様への利益還元を重要視し、安定的な経営基盤の確保に努め、株主配当につきましても、安定的に継続することを基本方針としております。

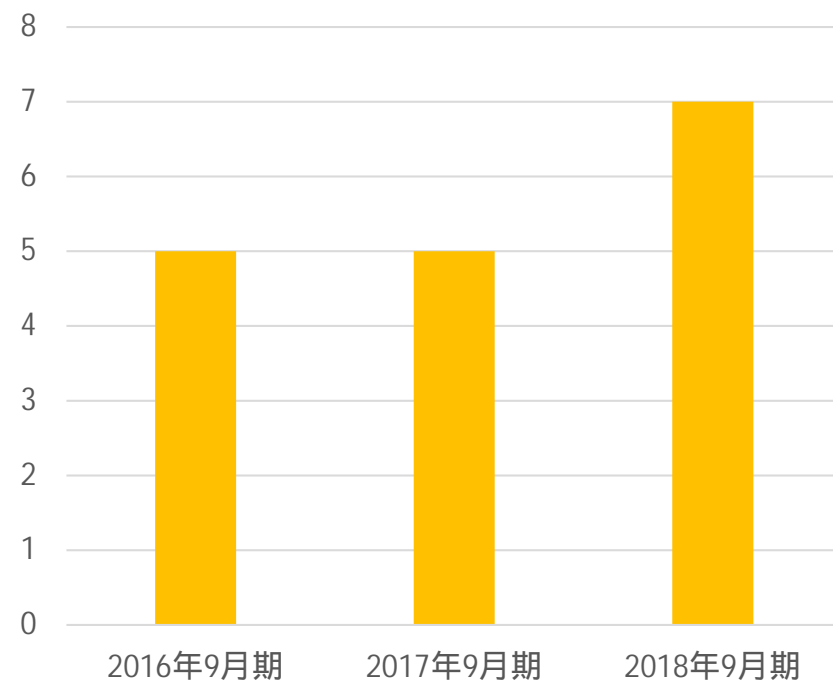
株主数

(単位：人)



配当状況

(単位：円)



7. 株式の状況

毎年9月30日現在の株主名簿に記載された1,000株以上の株式を保有して頂いている株主様に対し、下記の基準に基づきまして株主優待を贈呈させていただきます。



条 件	優 待 内 容
1,000株以上で保有期間3年未満	QUOカード3,000円分
1,000株以上で保有期間3年以上	QUOカード5,000円分

継続期間の算定にあたっては、同一の株主番号とさせていただきます

【お問合せ先】

福岡市東区馬出1丁目11番11号
日本乾溜工業株式会社 管理本部 総務部
TEL 092-632-1050

【お問合せ先】

福岡市東区馬出1丁目11番11号

日本乾溜工業株式会社 管理本部 総務部

TEL 092-632-1050 FAX 092-632-1082

本資料は、事業内容等に関する情報提供を目的としており、当社株式への投資を推奨するものではありません。

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の当社の判断や入手可能な情報に基づくもので、その情報の正確性、完全性を保証、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。



NIPPON KANRYU INDUSTRY CO.,LTD.
